

**製品名: SBDS ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86935**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000
分子量	Calculated MW:29 kDa; Observed MW:29 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SBDS
別名	SDS; SWDS; CGI-97
遺伝子ID	51119
SwissProt ID	Q9Y3A5
免疫原	ヒトSBDSの合成ペプチド

**背景**

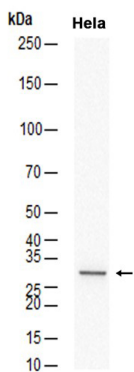
この遺伝子は、リボソーム生合成において重要な役割を果たす高度に保存されたタンパク質をコードしています。コードされている

タンパク質は、伸長因子様 GTPase 1 と相互作用し、真核生物の開始因子 6 を後期細胞質プレ 60S リボソームサブユニットから解離させ、80S サブユニットの組み立てを可能にします。この遺伝子の変異は、常染色体劣性疾患であるシュワツハマン・ポディアン・ダイヤモンド症候群と関連しています。この遺伝子には、遠位に位置する密接に連鎖した偽遺伝子が存在します。[RefSeq 提供、2017 年 1 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



SBDS ウサギモノクローナル抗体を 1:4000 で使用して HeLa 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。